

図書館セミナー 永野光太郎講演会

ピアノとチェンバロの 交差点

バロック時代の花形楽器チェンバロ、古典派以降にあらゆる場面で活躍したピアノ。どちらの楽器もプロ奏者として弾きこなし、さらにチェンバロ製作家としても活躍する永野光太郎氏に、二つの楽器の特徴や相違点、それぞれの音楽について語っていただきます。多面的な観点からのお話しを、自作のチェンバロ（スピネット）による生演奏も交えてお楽しみいただきます。



日 時 令和8年3月7日（土）
午後1時30分から（120分）
場 所 湯河原町立図書館3階集会室
定 員 80人（申込制）
申込受付期間 2月6日(金)から3月6日(金)

参加無料
※要申込



この QR コードのフォームからも申込可能です

お申込み・お問い合わせ

直接図書館へ、または ☎ 0465-63-4155

〈講師紹介〉 永野光太郎

1988年生。東京都八王子市出身。作曲家の両親の元、3歳でピアノを始める。カナダのモントリオールにてダン・タイ・ソン氏に師事し、大阪にて、クラウディオ・ソアレス氏に師事。J-city TOKYO チェンバロ プレジャー2014において第1位。国内各地でチェンバロ・リサイタルを開催。演奏のかたわら、チェンバロやヴァージナル、クラヴィコードの製作も行っている。

ピアニストとしても、第2回オーストラリア国際ショパンピアノコンクールにおいて第1位および聴衆賞など数多くの国際コンクールで入賞。世界各国で演奏活動を行っている